

## 美術科 授業改善推進プラン（平成29年度）文京区立第十中学校

### （1）学習の状況と課題（学力調査や生徒による学習実態調査、指導による学習の状況）

#### 1年

学習意欲が高い生徒が多い。アクリルガッシュの使い方、陶芸、レタリング、時間割表などでよく取り組んでいた。ただ、意欲はあるが、表現が雑になる生徒がいる。

#### 2年

ポスター（よい歯のポスター、薬物乱用防止）本物そっくりに作る。西洋美術史を行ったが、美術に対して意欲関心が高い生徒が多い一方、もう一步踏み込んだ表現が出来ていない生徒もいる。

#### 3年

一学期、遠近感のある絵、日本美術史をおこなった。少ない時間で効率的に作品を制作するために、各自で時間設定を行い、制作を行っていた。修学旅行、運動会などの行事があり、発想などで時間がかかり、残って作業した生徒が多かった。

### （2）指導改善の観点（課題解決のための具体的な授業改善策）

#### 1年

授業時間が短いため、4観点をすべて網羅することがなかなか難しく、評価することが難しかった。今後は特に学習実態調査で評価の低かった鑑賞について2学期に美術館鑑賞も含めて取り組んでいく。

#### 2年

1学期に行った本物そっくりに作るでは意欲的な取り組みが出来ている生徒、もう一步踏み込んだ表現を使用とする意欲が弱い生徒がいた。今後は短時間の版画を4回行いながら生徒の様子を見ていく。

#### 3年

学習実態調査で評価ではおおむね評価としては良好であったが、他の生徒の考えを聞き、理解を深める授業を増やしていく必要がある。短期の課題として入れていく。2学期に美術館鑑賞も含めて取り組んでいく。

### （3）指導方法改善のポイントと方策

#### 1年

4課題（特に発想、鑑賞）の設定と言語活動との関連を考え、とくに美術館鑑賞で色々な人の意見を聞くことを行い、鑑賞の大切さを意識させていく。

#### 2年

短期課題を行う琴により、計画する力、発想力を伸ばしていく。作品の完成後には他の生徒の意見を聞いたりすることで、自分の見方、考え方との違いを理解させ、受け入れるような授業を入れていく

#### 3年

他の生徒の意見を聞くことが出来る短期課題を入れていく。美術館鑑賞授業などで、発想力や鑑賞の力をのばしていく。